

2022.08.21. 私たちが希望を選ぶことのできる理由

第一ペテロ 1章 1節～5節

JD ファラグ牧師

私たちは、聖書を、書ごと、章ごと、節ごとに学んでいます。どの書にも言っていますが、特に、この「第一ペテロの手紙」を大変楽しみにしていました。1章1節から5節までを読みます。可能ならご起立くださって、私が読むのについてきてください。無理な方は、座ったままで結構です。使徒ペテロは、聖霊によって書いてます。1節、

#### I ペテロ 1

1 イエス・キリストの使徒ペテロから、ポントス、ガラテヤ、カパドキア、アジア、ビティニアに散って寄留している選ばれた人たち、すなわち、

2 父なる神の予知のままに、御霊による聖別によって、イエス・キリストに従うように、(ここに三位一体があります。) またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人たちへ。恵みと平安が、あなたがたにますます豊かに与えられますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、生ける望みを持たせてくださいました。

4 また、朽ちることも、汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これらは、あなたがたのために天に蓄えられています。

5 あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりの時に現されるように用意されている救いをいただくのです。

わお～祈りましょう。よろしければ、一緒をお願いします。

父なる神様。あなたの御言葉に心から感謝します。わお～これは、この第一の手紙に書かれているほんの一部です。主よ、これを書くよう、ペテロを導かれたことに感謝します。約 2000 年後の私たちにとって、これがどれほどの祝福と励ましになるのでしょうか。主よ、どうか御言葉を通して、私たちの人生に語りかけて下さいますように。主よ、私たちの教師、導き手となって下さいますように。私たちは聞く耳を持ち、受け取るよう心を開きます。主よ、どうかお語りください。あなたのしもべが聞いております。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日は、迫害や試練、困難の中でも、「私たちが希望を選ぶことのできる理由」キーワード＝「選ぶ」をお話ししたいと思います。今、試練の中にいる人はいますか？ ある人の言い方が好きなのは、「あなたは試練を終えたか、試練の真ただ中か、あるいは、これから試練を迎えます。」これって.....こしゃくじゃないです？ それはどうもありがとうございます！

なぜこのように話をし始めているかという、実は試練の時、人生の苦難を経験している時、私たちには多くの選択肢があるからです。恐れを「選ぶ」ことができます。失望を「選ぶ」ことができます。不安を「選ぶ」ことができます。絶望を「選ぶ」こともできます。しかし、ペテロは御霊によって、その代わりに、なぜ私たちが、希望を選ぶことのできるのか 5つの理由を挙げています。しかし、これらの理由に取り組む前に、その背景を知っておく事が重要だと思います。理解するため密接に繋がっています。まず、この手紙は、紀元後 64 から 65 年頃に書かれたと考えられています。さて、なぜそれが重要なのか？

なぜなら、この時代、“強烈”という表現では足りないほどの、迫害があったのです。皇帝ネロの手によって。

「ローマが燃えている時にバイオリンを弾く」（一大事を前に無関心でいる）この表現、聞いたことありますか？ これは、皇帝ネロがローマを焼き払い、クリスチャンを痛めつけた後に出た造語です。なぜ彼はローマを燃やしたのか？ もっと良い街を作りたいと思ったからです。冗談ではありません。ローマは既に完成した都市でした。そこで、自分の名を上げようとする皇帝ネロが登場します。どうやって彼はするのか？ そう彼は、燃やして、もっと良いものを建て直そうとしました。

「私の名前とイメージで建てるぞ！！」「ローマを燃やすのですか？」「そうだ、燃えている間、私は何もせず放っておく。」

この造語はそこからきています。ローマが焼け野原になった後、彼は、それを誰かのせいにする必要がありました。で、誰のせいにしたのでしょうか？ あのクリスチャンたちです。

「あいつらは、いつも地獄の業火の話ばかりしている。あいつらのせいにしろ。あいつらだ。」で、どうなったでしょう？ 皇帝ネロは..... 私は話し方に注意しますが、かなり生々しいのですが、これが真実で、実際にあったことです。この男は、明らかに悪霊に取り憑かれていて、クリスチャンたちを捕らえ、タールに浸して自分の庭園に置き、女装し、同性愛の恋人たちと一緒に戦車に乗せて、その庭園を走り回ったんです。ちなみに、ベレヤ人になってください。私ができるなら、皆さんにも分かります。ネロは、このクリスチャンたちを置いた庭園を戦車で走りまわり、彼らに火をつけ、生きたまま焼き殺しました。そして、彼らを嘲笑しました。「燃えろ！お前たちは世の光だ。」また「獅子の巣に投げ込まれた」と言われている理由は、大規模なスポーツイベントを開催し、多くの人々を集め、お金を取り、獅子や野生動物を連れてきて、クリスチャンをその中に投げ込みました。あまり生々しくならないようにしますが、ローマ人の歓声の中、動物の死骸の中に、生きたままクリスチャンを入れ、闘技場に投げ入れました。彼らはそのようにして、生きたまま餌食にされました。つまり、生きたまま焼かれるか、生きたまま食われるか、どちらかでした。

「わお、牧師さん、なぜそんな詳細を言うんですか？」なぜなら、ペテロがこの手紙を書いたとき、彼らは逃亡していたからです。そのため、1節で、彼らが地方に散らばっていたことが書かれています。このような極度の迫害と苦しみの中にいる信者たちに、聖霊の靈感を受けたペテロは、希望を与えるため手紙を書きます。そのために書かれたものが、何世代も経た今、ここにあるのです。そして、これは、こんにちの私たちのためでもあります。もう1つ、指摘しておきたいことがあります。そうしないと、大きな過ちを犯すことになります。それは使徒ペテロに関係があります。特に、ペテロは初代教会で使徒的に卓越した存在で、新約聖書に、イエス以外で、誰よりも多くその名前が出てきます。ペテロの名前は210回、パウロの名前は162回、他の使徒は、合わせても114回しか出てこないとある人は指摘します。福音書の中で、イエスは他のどの弟子よりもペテロと話をされていることが記録されています。さて、なぜそれが重要なのでしょうか？ なぜなら、ペテロは、彼らがこれ（手紙）を受け取るべき器だからです。迫害されたクリスチャンたちは、ペテロのことを知っていました。ペテロが、自分たちの人生に語りかけることができる器だと知っていたから彼らはペテロから、希望と励ましを受けとれたのです。言い換えれば、ペテロがイエスと共に経験した全てが故に苦しんでいる信徒たちの人生の器となれたのです。彼はイエスと一緒にいたのです。このことは、1章で後半で見ることになります。ペテロは彼らに対して言います。「あなた方は、イエスを見ていませんが、私はイエスを見ました。実際にイエスを知っています。」

「そうなんですか？まさか！」そのまさかです。「しかし、あなたがたは見てはいなかった。あなたがたはイエスと共にはいなかった。私は一緒だった。なのに、あなたがたはイエスを信じ、愛しています。」

(I ペテロ 1:8 参照)

それは、後で分かります。「使徒の働き 4 章」に、興味深い記述があります。聖霊に満たされたペテロは、大胆に、勇気をもって説教し、当時の支配者、長老、律法学者、大祭司たちを唾然とさせます。彼らは「ちょっと待ってよ。」という感じです。「この人、船に乗っていた、あの漁師じゃないの？」「これは.....同じ人間、ペテロなのか？」「あの下品で荒っぽい漁師の？」「まさか！」そのまさかなのです。

#### 使徒 4

**13 彼らはペテロとヨハネの大胆さを見、また二人が無学な普通の人であるのを知って驚いた。また、”二人がイエスとともにいたのだということも分かってきた。”**

「お～だからなのか。」「この人、漁師のくせにこんな説教をするの？」「その理由は、彼がイエスと一緒にいたからとしか考えられない。」ああ、願わくば、私たちもそのように言われますように。「お～、彼はイエスと一緒にいたからだ。」それが理由です。それで説明がつきます。それらを理解した上で、私たちは、御言葉に入れると思います。これは深い励ましの手紙です。この最初の 5 節の 5 つの理由で、素晴らしいスタートを切れます。もっとたくさんあるかもしれませんが、私は 5 つ見つけました。

5 つの理由、再度キーワード、何度も繰り返しますが、”希望を選ぶ” です。私たちには選択肢があります。希望を選ぶ。まず 1 つ目、1 節に書かれています。

「私たちのこの世での滞在は、一時的。」

ペテロはこの手紙を神の選民、流浪の民、と書き始めていて、他の翻訳では寄留者です。その方がより良い理解しやすい翻訳です。寄留者とは何かご存じですか？ ただ通り過ぎて行くだけの人です。このことは、1 章の後の方で、ペテロが少しの間だけの試練について話しているところで、再び見ます。

「少しの間？ 試練は、延々と続いているのに、少しの間って、どういう意味？」「お～それは一時的なものです。」使徒パウロがこう反復していますよ。

**「今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。」**

(ローマ 8:18)

だから、ペテロは彼らを励まし、思い起こさせようとしています。「あなたたちは寄留者に過ぎません。あなたがたは、長くここにいるわけではありません。あなた方は、この世の住民ではありません。ここでの滞在は一時的です。」彼らは、この世を通り過ぎるだけの異国人であることを、大いに思い起こす必要があったのです。

「ああ、でもペテロ、私の兄弟は、叔父、父、息子は、皇帝ネロに、生きてまま焼き殺されました。彼らは逃げられませんでした。私たちは逃げました。私たちはガラテヤや他の地方に逃げ切ったのですが、彼らはそうではありませんでした。」

「ええ、私たちのここでの滞在は一時的なものです。兄弟、姉妹よ。」私たちが住んでいるのは、異国の地であり、それが一時的なものに過ぎない事を知るの、おそらく、最も勇気と希望を与えてくれる真実の一つでしょう。それを知っている事は、、、「ちょっと待って、ここでのことほど酷いことはありませんが、ここは私の最終目的地ではないので、永遠に続くわけではありません。この世は私の家ではないのです。」よく言われることで皆さんご存知でしょうがクリスチャンにとっては、ここが知りうる一番の地獄で、ノンクリスチャンにとっては、ここが彼らが知りうる最高の天国です。それを視野に置く事だと思

ます。第一礼拝の「聖書預言・アップデート」で分かち合いましたが、皆さんにも告白すべきでしょう。あまり頻繁ではありませんが、カイルビーチに行って、フラッグス（高級住宅街）の、あの豪華豪邸の前を通るんです。建設中です。どれくらいかかるのか知りませんが、まだ完成していません。

「うわー、2年も3年もかかっている。」美しい！ その前を通りかかっていると、私は.....これが告白ですが、パウロが言ったように、

「私の肉には、良いものが宿っていないことを知っています。醜い思いが頭をもたげ、そう、妬みが出て来ます。」「やあ、妬み君、待っていたよ〜。」「わあ、これを見てよ！ 凄いよね？ ビーチ沿いだよ！！ ここの客室のトイレは、あなたの家より広いよ。」で、私はそれを見てこうなります。「うわー、これは最高だ！ すごくいい....」すると聖霊が「何をしてるのですか？」「何が？ 何ですか？」—(笑)—

「これ??? 天であなたのために建築しているもの、知っていますか？ わたしが、あなたのために準備している豪邸は、その外観は、、、」こんな例です。

「ここのコンクリートを見なさい。」「ええ、流し込んでますね。」「あなたの豪邸はゴールドですよ。」

「お〜そうだ、そうでした！ もう大丈夫です。ごめんなさい。忘れてました。」

私たちは、思い出すことが必要だと思いませんか？ 私たちが聖餐式を共にするたびに....聖餐式のキーワードが何か知っていますか？「覚える/思い出す」なぜ、覚えなさいといけないのか？ 私たちは忘れてしまうからです。私たちは、何を忘れるのでしょうか？ 私たちを待ち受けているものを忘れてしまうのです。私たちは、イエスが私たちのために死んで下さったことを忘れます。私たちは、この世が私たちの家ではないことを忘れます。私たちは、ここにいるのが、ほんの短い間なのを忘れます。でも、本当にビーチ沿いの良いところなんですけどね.....そんなに長くは住めないのです。(会衆：アーメン)

ここで2節前半の2つ目の理由に繋がります。「神が私たちを予知し、選ばれた。」さあ、お付き合いください。この聖書の一節は、何世紀にも渡り、予定説、選民、選ばれた者というのが激しい議論の源となってきたと認識します。カルヴァン主義の5つのポイントです。しかし、実はシンプルなことで、予定説に関して、単純化しすぎることをお許しください。なかなか、いい感じですよ。実際、自分が何を言っているか分かっているように聞こえますが.....これは大きな問題なのです。名前を挙げ始めることができます。挙げません。必要ないのです。「選ばれる運命の者だけが救われる」という信念を持つ、非常に有名な聖書教師。つまり、選民、運命づけ予定された者しか救われられないという考えです。なぜ、私は...

まあ、もう遅すぎますね。それって、神への冒涇、神への冒涇です。言い方は悪いですが、その考えは地獄の底から来ています。言い方が強いのは分かっていますが、でもそうする必要がありません。だって、もしそれが本当なら、皆さん、どういう意味か分かりますか？ ヨハネ福音書3章16節を、、、これを言うのも難しいですが、私たちの聖書から取り除くことになります。

### ヨハネ 3

**16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が”信じる者は誰でも”一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」**

「選民のうち、誰であれ、あらかじめ定められている」とは書かれていません。違います！ もう1つ、またしても、、、でも言いましょ。皆さん、覚えているかどうか分かりませんが、その人は今、主とともにいるベリアン・コールのデイブ・ハント氏。私は特権から、、、本土にいた頃の話です。北アイダホにいたとき、彼をゲストスピーカーとして招きました。ノースアイダホ大学を貸し切りしました。週末の大半を彼と過ごすことができました。私は、次から次へと彼に質問したのを覚えています。ところでこの時、皆



れがゲームチェンジャーになるはずです。もし神が、私に起こることをすべて予知しておられるなら、神がそれをコントロールされるのが当然ではないですか？

「神よ、あなたは彼らがクリスチャンに何をしているのか見ておられますか？」「知っています。」

「神よ、なぜそれを許されるのですか？」「ああ、今に分かります。今に分かります。」それが実は、2節の後半にある3つ目の理由と結びついています。

「恵みと平和が、倍増する。」ペテロがここで言っていることの重要性は、いくら強調しても、し足りないのでしょう。彼は実際、使徒パウロよりもさらに一步踏み込んだことを語っています。使徒パウロはいつも言いますよね？「恵みと平安、恵みと平安、恵みと平安」ペテロが言っているのは、「恵みと平安が、倍増するように」翻訳によってはそう訳されています。つまり、恵みと平安だけではなく、恵みと平安を10の10乗倍したような、何倍もの豊かさで、あなたの想像をはるかに超え、非常にふんだんに。皆さん、要点は分かりましたね？ 言い換えれば、「わたしはあなたに今必要なものを加えます。あなたには今恵みと間違いなく、平安が必要だから。わたしはあなたに恵みを与えます。”わたしの恵みは十分です”そして、わたしはあなたに平安を与えます。”世が与えるようなものではありません。”(ヨハネ 14:7) わたしが与える平安は、世が与える平安と同じものではありません。なぜなら、世が与える平安は、あなたの人生で、起こっている事が前提だからです。わたしが与える平安は、起こっている事と関係ありません。世のすべてが崩壊しても、わたしがあなたに与える平安は、あなたの人生で起こっている事が前提ではありません。わたしがあなたに与える平安は、人知を、人の理解を超えたものです。使徒パウロは、「ピリピ人への手紙4章6-8節」で語ります。

**「すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」(ピリピ 4:7)**

平安の神からの、神の平安です。わたしは、ただ平安を与えるだけでなく、それに少し付け加えます。で、実際あなた経験している状態だと、実は倍増します。あなたには、倍増した平和と倍増した恵みが必要です。私たちの人生には、ご存知な神が、必要な時に正に必要なものを、倍増くださる時があります。それが私たちのものです。恵み：いただきます。平安：どこに署名すればいいですか？ 私は平安が欲しいです。何倍にも倍増してあなたのものです。さて、4つ目は3節です。

「私たちの希望はキリストにある生ける望み」

さて、ここで少し時間を取りたいと思います。というのは、ここでペテロは、神の偉大な憐れみを強調し、ペテロはまるで、この賛美を捧げ、弾けるかのようです。慈悲に、神が私たちに与えてくださった生ける望みにある新生に。お～望みだけではありません。生ける望みなのです。なぜ生ける望みなのか？ なぜなら、主は生きておられます！ なぜなら、イエスは死からよみがえられたから、イエス・キリストの復活は、死を打ち破ったからです。これは生ける望みであって、死んでいく望みではありません。つまり、世が、世が持っている望みは、ああ、なんというか...こう言います。「望みが薄れて行く。」そうなんですか？ 私の望みはそうではありませんよ。私はイエス・キリストにある生ける望みがあるのですから。そう、決して色褪せることはありません。決して消えることはありません。決して失われることはありません。これがキリストにある私の生ける望みです。私は選ぶべきなのか？ それは私の選択です。なぜなら、もう一度言います。逆境に立たされた時、試練が襲ってきた時、私たちはその選択に迫られます。そう、選ぶのは私たちです。どう対応すればいいのでしょうか？ 私の選択です。私はビビるのか？ 私は心配したり、恐れったり、悩み出したりするのか？ それとも、私はただ神を信頼し、神に望みを置くの

か？ もし私がそうするなら、その生ける望みは、私の物です。私は、イエス・キリストの復活によるこの生ける望みの中で、神の御霊によって新生したのですから。(咳/失礼)これが最後の1つです。最近咳をするのもしにくくなりましたね。あ～、私は大丈夫、元気ですよ。皆さん知っておいてください。残りの時間をこの5つ目、最後の1つ、4節と5節に費やしたいと思います。そして、その先には、「私たちの永遠の資産が待ち受ける」さて、この2つの節については、実は最近の「預言・アップ」でお話しました。その理由は、私たちが選ぶべき望みに関する、この強力な真理がセットだからです。これ以上強く、分かりやすく書くことが可能なかどうか分かりません。しかし、彼はこの資産について話しています。皆さんに資産があることをご存知ですか？ お～ちなみに、あなたが受け継ぐことになるこの資産は、弁護士も手を出せません。誰もそれに手を出せません。その理由は、主が来られるまでの間、主の御力によって封印され、保たれているからです。もし私たちが望みを選ぶなら、この永遠の資産が私たちが待っています。さて、このことは私をどのように勇気づけ、望みを与えてくれるか。なぜなら、それを楽しみにすると、どんなことがあっても、乗り越えやすくなります。それを楽しみにするからです。

「私には資産があります。」そうなのですか？どのくらい？ ほ～、カイルアビーチのあの場所のことは話しましたっけ？ —(笑)— OK。参照にするのは最後です。ちなみに、私が悔い改めて、神から赦されたことを分かって欲しいです。つまり、私を待ちうける、私のために保たれ、封印されている資産は、このすべてを、プシュ～と吹き飛ばします。また、使徒パウロは言いました。

苦しみ、試練が、困難が、厳しく大きくとも、私たちが待ち受けている栄光、資産と比較することすらできません。(II コリント 4:17 参照)

そこ(見える物)から目を離し、主に目を置くのです。預言者イザヤは、御霊によって書いています。

**「志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。」(イザヤ 26:3)**

これはピリピ人への手紙4章と一致します。使徒パウロは、心配や恐れについてをこう語ります。

「あらゆることを神に感謝し、あらゆることを祈れば、何も心配することはありません。その時に、平和の神があなたに神の平和を与えてくださいます。そして、これらのことについて考えてみてください。」パウロはこれらの事柄を列挙し始めます。清いこと、評判の良いこと、何か徳とされること、、、これらのことを考えてください。その変貌ぶりに驚くことでしょう。

「人は心の中で思う通りの者である」(箴言 23:7 口語訳参照)

ですから、自分が苦勞することばかりを考えていたら、無理ありません。これも別の、、、ダサイですが大好きです。私がダサイから、好きなんだと思います。でも、こんな言葉を聞いたことがありますか？

「自分に目を向けると落ち込む。人に目を向けると、悩む。しかし、主に目を向けると祝福される。」ダサイと言ったでしょ？ —(笑)— しかし、本当ですよ？ つまり、これらは.....「自分の内面を見つめることだ！」いいえ、絶対やめてください。やめてください。とても憂鬱になります。そして、目を自分に向けていると世界一落ち込む人になります。そして、人も見てはいけません。さらに悪いから。なぜなら、落ち込む状態から今や悩む状態になってしまうからです。主に目を向ける。私たちの望みは、このお方にあるのではないですか？ つまり主が、私たちの望みなのです。そして、それを祝福された望みと呼び、来臨、携挙です。

それは私たちの.....因みに、言うところの.....このことはアップデートでも話しましたが、さっと話し、もう締めくくります。ご忍耐感謝します。私たちが望みと言うとき、それは「あ～そう望むよ～」

というようなものではありません。違います。英語では、思いつく最高の言葉は(JD 咳が出る) Hope/

希望・望みです。咳をし続けたいのを望みます。ー(笑)ー

しかし、それはあなたの望み、唯一の望みという考えが込められています。あなたは、必ずこのことから抜け出します。なぜなら、あなたの望みはその方にあるから。イエスが私たちの望みです。当り前の結論です。時間の問題です。私は、こんな風に締めくくります。ある人が言っていたように、「説教が終わったら締めくくりなさい」ー(笑)ー なのでカポノ、上がって来てください。皆さんご起立ください。ー拍手ー そう、主に委ねます。

天のお父様、感謝します。あなたの御言葉、御言葉に感謝します。この御言葉、この望みに感謝します。私たちが望みを選ぶことができる事を感謝します。使徒ペテロに、このような時のために、これを書くよう導いて下さり感謝します。辛うじて持ちこたえている多くの人たちがこの御言葉を聞くことを必要としているからです。主よ、ここ（世）が私たちの最終目的地でないことを感謝します。私たちはここに長居するつもりはありません。私たちは通り過ぎるだけです。その先に、私たちに何が待ち受けているかを知りさえすれば、全てが過ぎ去って行き、比べものにもなりません。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7